

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Tomo de coco 児童発達支援		
○保護者評価実施期間	令和7年1月4日		～ 令和7年1月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34 (回答者数)	28
○従業者評価実施期間	令和7年1月4日		～ 令和7年1月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月20日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもの特性を見ながら利用曜日・利用時間を臨機応変に対応している。また支援内容も子どもたちの特性に合った活動を提供しているとともに、楽しめる活動を職員間で話し合っており、提供している。	・日々のミーティングにおいて職員の意見等を把握して話し合う機会があり、意見には柔軟に対応できている。活動プログラムの立案は、子どもたちに合った支援が提供できるように職員間でしっかり話し合っており支援内容・活動内容を決めている。	・スタッフ間での情報共有を大切に、伝え漏れなどが無いように申し送りノートに記載している。また、定期的に管理者とスタッフで面談を行い、振り返りや目標設定をしている。
2	・パーテーションで部屋を区切るなど、子どもに寄り添い安心して療育が受けられるように工夫している。	・他児と少し離れた静かな机で学習をするなど環境を配慮している。	・子どもの特性に合わせて個別スペースを作っている。
3	・子ども一人一人の発達段階に合ったプリントや教材を準備している。	・個々が好きなキャラクターが載ったプリントなどを作成し、楽しく学習できるように工夫している。	・鉛筆で書くプリントばかりではなく、ハサミで切つてのりで貼る、クラフトのプリントも準備している。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・指導員のデスクや療育用具等が常に見える所にあるため、気が散ってしまう子どもがいる。	・隠せる収納場所が少ない。	・収納用具や収納場所の工夫が必要である。
2	・保護者会を開催しているが、保護者会や保護者同士の交流の機会が作られていることが十分周知されていない。	・都合により保護者会に参加できる保護者の方が少ない。	・保護者会の周知と保護者のニーズに合った参加しやすい会の開催について考える。 ・保護者会への興味と参加する意欲を持ってもらえるように努める。
3	・トモデココから園への送迎を行っている利用児の保護者とは、モニタリングやアセスメント時以外、直接お会いして話せる機会がない。	・園への送迎は、利点もあるが保護者との信頼関係を深める機会が少なくなる。	・モニタリングやアセスメント時以外でも必要に応じていつでも相談できることを知らせる。 ・文書や電話等も活用しながら保護者との信頼関係を深める。